

コーポレートガバナンスとCSR推進体制

当社を中核とする京阪グループは、運輸業を基幹としたライフステージネットワークを展開する中で地域社会やお客さま、株主の皆さまを大切にするとともに、法令・社会規範の遵守や環境保全・資源保護への配慮といった企業としての社会的責任を果たし、グループを取り巻く多くのステークホルダーの信頼に応えることを目指し、効率的かつ適正な企業運営の推進に努めています。

コーポレートガバナンス

当社では、グループ成長戦略を強力に推進するため、主としてグループ経営戦略の責任を担うCEOとグループ事業執行の責任を担うCOOを中心とする経営体制をとっています。このような経営体制のもと、取締役会を経営機構の中心に据え、グループ会社を含めた経営戦略および重要な業務執行の決定ならびに監督を行っています。

また、会社経営の経験者である社外取締役2名を選任するなど、取締役会の体制充実に努めています。さらに、業務

執行の局面では執行役員制度を導入してグループを含めた事業を4つの事業群(運輸、不動産、流通、レジャー・サービス)に区分した上、各事業群の統括責任者を執行役員としてその迅速化を図っています。

一方、監査役会を設置し、企業法務、企業会計の専門家および会社経営の経験者である社外監査役を選任するなど、監査体制の充実に努めています。

■ コーポレートガバナンス模式図

